

# 教育センター通信

## ほど 火床の火の心を紡ぐ

第13号（通算第19号）  
平成27年3月18日  
三条市小中一貫教育推進課  
教育センター 発行

卒業記念合唱「道」（3月6日）



## 「植 福」

三条市教育委員会 教育部長 池浦倫之

「教育改革を手伝ってもらいたい」市長室での人事異動の内示の際にそうわれ、教育委員会に出向した。平成19年4月のことである。当時教育委員会では、三市町村の合併の制度調整の余韻が冷めきっていない中、新市における教育理念を表す「教育基本方針」の策定がなされ、それを具現化するために「教育制度等検討委員会」を設置し、教育施策の議論が始まった矢先であった。

大変なところへ来てしまったなあというのが、初めて教育行政に踏み入れた私の素直な感想であった。教育制度検討委員会の議論は順調に進み、1年後には小中一貫教育の導入の提言がなされた。以来8年が経過しようとしている。この間に、モデルカリキュラムの作成、モデル校での試行実施などの準備作業を経て、全面実施がなされ、今では全国の中でもフロントランナーと言われるまでに進展してきている。短期間で小中一貫教育がここまで三条市の学校教育の柱となるとは想像以上のことであった。

ここまでこれたことは、我々教育行政に携わるもの以上に、三条市の子どもたちをより良く育てたいという学校現場の先生方の願いや保護者、地域の人たちの思いがあったからこそだと思う。

国においても小中一貫教育の議論は進み、まもなく学校教育法が改正され、小中一貫教育学校が新たな学校種として認められることになる。我々の挑戦は、まったく間違っていなかった。

明治の文豪幸田露伴の著書、「努力論」の中に、幸せになるための3つの工夫として「幸福三説」が記述されている。詳細は略すが、その中の1つが「植福」である。「植福」とは、読んで字の如し、幸せになるためには、幸せの種を植えるということである。

私は、この3月に38年間の市役所生活を終える。

今、私の目には、三条市の小中一貫教育を受けた子どもたちが、何年後かに三条、日本、世界の中で活躍する姿が浮かんでくる。小中一貫教育こそまさに「植福」そのものだと思わずにはいられない。

# 平成26年度「教職員研修、講座」を振り返って

教育センター（平成25年8月開設）は今年度から「教職員研修、講座」を本格的に実施しました。目的は、「三条市の小中一貫教育についての理解を深め、教職員の指導力の向上を図ること」です。皆様のご理解・ご協力のおかげで1月末にすべて終了しました。研修の様子は「教育センター通信」でいくつか紹介してきました。年度末に当たり、受講者数等数値的な面から振り返ってみました。

## I 基礎研修

| 研修・講座名      | 講座数 | 実施月  | 受講者数 | 評価 |
|-------------|-----|------|------|----|
| 小中一貫教育基礎研修会 | 2   | 4、8月 | 204  | 99 |

## II 実践研修

### 1 学力を向上させる研修

| 研修・講座名                 | 講座数 | 実施月    | 受講者数 | 評価  |
|------------------------|-----|--------|------|-----|
| 全国学力・学習状況調査を活用した授業改善研修 | 1   | 1月     | 10   | 100 |
| 教科カリキュラムの活用、授業づくり講座・演習 | 3   | 6、8、9月 | 75   | 100 |
| 外国語活動・英語教育研修会          | 1   | 4月     | 30   | 100 |
| 外国語活動・英語小中合同研修会        | 1   | 6月     | 20   | 100 |
| 小学校教員から学ぶ研修講座          | 1   | 9月     | 8    | 100 |
| 中学校教員から学ぶ研修講座          | 1   | 9月     | 11   | 100 |

### 2 人間関係を豊かにする研修

| 研修・講座名                | 講座数 | 実施月     | 受講者数 | 評価  |
|-----------------------|-----|---------|------|-----|
| 生徒指導研修会               | 1   | 4月      | 45   | *   |
| 不登校児童生徒コーディネート力向上研修   | 3   | 5、7、11月 | 88   | 99  |
| 道徳教育研修                | 1   | 7月      | 34   | 100 |
| ハイパーQ U活用研修会 ※2回目は講演会 | 3   | 6、8、10月 | 271  | 99  |

### 3 各種教育研修

| 研修・講座名                       | 講座数 | 実施月    | 受講者数 | 評価  |
|------------------------------|-----|--------|------|-----|
| デジタル教科書・電子黒板活用研修会            | 3   | 5、6、8月 | 32   | 97  |
| ホームページ作成、管理研修会               | 1   | 10月    | 21   | 100 |
| 環境教育研修会                      | 1   | 6月     | 30   | *   |
| 防災教育研修会                      | 3   | 9月     | 100  | *   |
| インクルーシブ教育構築モデルスクール事業報告会      | 1   | 6月     | 42   | 100 |
| 衝動的な行動のとらえと指導研修会             | 1   | 5月     | 46   | 93  |
| 特別支援教育指導員研修会                 | 1   | 7月     | 85   | 100 |
| 特別支援教育講演会（発達応援セミナー）          | 1   | 8月     | 209  | 71  |
| 発達障害を対象としたソーシャルスキルトレーニング     | 1   | 8月     | 36   | 100 |
| 特別支援教育研修会～特別な配慮に基づく授業づくり研修会～ | 1   | 9月     | 59   | 100 |
| 保護者、関係機関との連携と支援の方法           | 1   | 10月    | 20   | 100 |

## III 充実発展研修

| 研修・講座名    | 講座数 | 実施月     | 受講者数 | 評価 |
|-----------|-----|---------|------|----|
| マネジメント研修  | 3   | 5、9、12月 | 113  | 98 |
| メンタルヘルス研修 | 2   | 6、11月   | 34   | 97 |

※「授業力向上実践研修」「刃物・ものづくり教育推進事業」「科学教育推進事業」は別途報告。

|                       |    |      |       |    |
|-----------------------|----|------|-------|----|
| 全体（講座数と受講者数は合計、評価は平均） | 38 | 4～1月 | 1,623 | 99 |
|-----------------------|----|------|-------|----|

※ 評価…受講者アンケートによる4段階評定（A、B、C、D）の「A」と「B」の合計。（%）

A：役に立った

B：どちらかといえば役に立った

\*…アンケートを実施せず

C：どちらかといえば役に立たなかった

D：役に立たなかった

# 幼保小連携「第2回合同実務者会議」～2月25日～

【実践発表】 一平成26年度の「幼保小連携の取組」について、2つの校・園が実践発表を行いました！一

- ①授業参観・情報交換会 5月下旬、6つの幼稚園・保育所（園）の年長児担任が小学校を訪れ、1年生の授業を参観し、その後、1年生担任と情報交換会を行った。〔入学後の児童の成長や小学校の授業形態・内容を理解する機会となった。〕
- ②裏小秋祭り交流 年長児が裏小秋祭りの出店を回り、小学生と交流した。〔年長児が小学校の様子を実感し、全学年の児童と触れ合うよい機会となった。〕
- ③給食交流会 1年生と年長児がグループになって給食を食べ、その後1年生の出店（生活科と関連）にお客となって回った。〔1年生が園児を気づかい、もうすぐ2年生になるという自覚が高まった。〕
- ④入学説明会時における年長児と1年生の交流 ⑤入学式前日のリハーサル
- ⑥小学校教員が幼稚園・保育所（園）を訪問し、保育士体験を実施。（夏季休業中）



裏館小学校



おぎぼり保育園

- ①元気に体を動かそう 3つの保育所（園）の年長児が仲間集めゲーム等を行った。〔就学時健診で顔見知りになった子が多く、楽しい雰囲気の中で交流できた。〕
- ②小学校との交流 小学校運動会の50m走に参加及び文化祭に絵を展示。〔小学校でやるのが分かり、入学に対する不安感の解消につながった。〕
- ③交流活動（6月、10月、2月）

【三条市の幼保小連携に関する取組】 一子育て支援課の担当者が5つの取組について説明しました！一

## 1 交流活動 ※詳細は「交流活動報告書」に記載。以下は「交流活動に関する意見」

- ・以前に比べ交流活動が増え、入学に対する意欲が高まっている。
- ・計画になくても「今日は天気がいいので、小学校まで散歩しよう。」というように気楽にいくことができるようになった。そんな時、温かく迎えてもらってありがたい。
- ・学区だけの交流でなく、入学する小学校での交流があるとよい。
- ・3学期の交流活動は入学に対する意欲が高まっている時なので効果的である。インフルエンザ等で中止になることが多いのが残念。
- ・一緒に授業を行うなどの取組があるとよい。
- ・今後は交流の質を工夫していきたい。



## 2 研修会

- ・汐見稔幸先生の講演会（平成26年9月17日）
  - ・錦恵美子先生の絵本研修会（平成27年2月5日）
- ☆内容の濃い、とてもよい研修会となった。

## 3 幼保小連携のための施設訪問

- ①小学校訪問（5～6月）⇒新1年生の様子を参観
  - ・子育て支援課：保健師、家庭児童相談員、幼保小連携推進員等
  - ・小中一貫教育推進課：統括指導主事、指導主事
- ②幼稚園・保育（園）訪問（11～2月）⇒年長児の様子を参観
  - ・子育て支援課：幼保小連携推進員
  - ・小中一貫教育推進課：統括指導主事、指導主事

## 4 「安心わくわくプログラム概要版」

### 「スタートモデルカリキュラム」の作成

- ・平成26・27年度で作成 平成28年度より実施予定
- ・「スタートモデルカリキュラム」は入学後2週間までの内容

## 5 支援の必要な子について

- ①年中児発達参観（平成26年度より）
- ②個別の発達支援計画（幼保で作成）
- ③個別支援計画書（発達ルームで作成）

【平成27年度の計画立案】

参加者（小学校教員、幼稚園・保育所・保育園職員）が9中学校区に分かれて、平成27年度の交流活動のねらいや内容・期日等について協議しました。

# 栄中区第3回小中一貫教育推進協議会を開催 ～2月26日～

平成26年度の成果と課題及び平成27年度の推進組織・活動計画等について協議しました。以下、主な内容を紹介いたします。

### 【11月以降の取組報告】

- ◇中2職場体験学習発表会・小6中学校授業体験（11月28日開催）
  - ・昨年の反省（体育館では周囲の音が気になり発表が聞き取れない）を踏まえ、各教室で実施した。発表内容もよく小学生の評価が高かった。
  - ・「中学校の授業のやり方が分かってよかった」「内容が難しくて授業についていけないか不安になった」等の感想があった。持ち方を工夫したい。
- ◇入学説明会・小学生授業体験・部活動体験（1月22日開催）
  - ・中学生の授業の様子を参観し、6年生が中学入学への心構えをもつことができた。自分が入部したい部活動を体験でき、不安感が減少した。
- ◇校区小中一貫教育報告会（2月10日開催）
  - ・参加者は106名（昨年度85名）で、地域の関心の高さを実感した。「地域住民に報告し、理解を得る」というねらいは達成できたと考える。
  - ・次年度も同時期、同会場（教育センター）で開催したい。



### 【平成27年度に向けて】

- ◇推進組織について ・企画委員会を位置づける。 ・事務局に各校事務職員を追加する。
- ◇年間活動計画 ～基本的には平成26年度と同様の活動を実施～

|  |  |   |
|--|--|---|
| <b>豊かな心部</b><br>○いじめ見逃しゼロスクール集会<br>・各校の取組発表、ゲーム意見交換、共同制作等<br>○あいさつ運動<br>・中学生が出身小学校に出向いて小学校代表と行う。<br>・小学生が中学校で行う。 | <b>分かる授業部</b> ※主なもの<br>○計画訪問（栄中、栄中央小）<br>○学習指導訪問（栄北小、大面小）<br>○小学校教師乗り入れ授業<br>○学力検査の共同分析・情報交換（NRT、全国学力調査）<br>○カリキュラムの見直し<br>○共通努力事項実施・実践の共有 | <b>健康・体力部</b><br>○調査・分析<br>・体力テスト<br>・生活習慣実態調査 等<br>○生活リズムチャレンジ週間<br>○合同学校保健委員会<br>○生活習慣年間指導計画の作成<br>○合同陸上練習会 |
| <b>地域連携部</b> ○小中一貫教育についての保護者への説明<br>○フラワーロード活動<br>○栄中区小中一貫教育活動報告会  | <b>評価・広報部</b><br>○広報紙「さかえの子」第17～19号発行<br>○同左での実践発表（プレゼン20～25分）   |   |

※委員の皆さんが積極的に発言する姿が印象的でした。推進協議会を取材する中で“**栄地域の子どもは栄地域で育てていくんだ**”という栄地域の皆さんの強い思いが伝わってきました。

### 「全国サミット in 三条」開催に向けて ～その2～

標記の会に向けた「第1回実行委員会」が2月26日に開催されました。概要をお知らせします。

- 1 **構成** 委員長：長谷川教育長 委員14名（教育部長、校長4名、教頭3名、主幹教諭等6名） 監査1名
- 2 **1日目（10月22日）の公開授業について** ※副委員長：小林三条小校長（委員の互選による）
  - ①小中のつながりが参観可能な授業公開とする。
  - ②連携型の中学校区は公開会場数を検討する。
  - ③小小交流活動、小中交流活動の公開も可とする。
  - ④授業公開校区以外の中学校区の教職員は、授業公開校区の支援をする。（指導案検討に参加する、模擬授業をする、当日の手伝いをする等）
- 3 **協議会の持ち方について**
  - ①推進リーダー等による全体発表、実践報告、質疑応答を行う。（クラスごとの分科会は持たない。）
  - ②指導者は各中学校区1名とする。できるだけ小中一貫教育に造詣の深い県内外の有識者の方から事前指導も含め複数回来校していただく。

| 授業公開校区 | 支援する校区    |
|--------|-----------|
| 第一中区   | 大崎中区、下田中区 |
| 第二中区   | 栄中区       |
| 第三中区   | 本成寺中区     |
| 大島中区   | 第四中区      |

- 4 **予算** 550万円（開催費、参加費、補助金）  
※参加費 3,000円
- 5 **今後の実行委員会の予定**  
第2回：5月 第3回：8月 第4回：10月